

JCMA 報告

冬の北陸 地域の活力がにぎわいを！ ゆきみらい 2012 in 金沢

◆除雪機械展示会報告◆

笠原 邦昭



図-1 金沢市位置図

1. はじめに

克雪・利雪技術の現状や課題，雪に強い街づくりなど，様々な取組に対する意見交換や情報交換を通じて雪国の未来を展望し地域の活性化を図ることを目的に，平成24年2月2日（木）から2月3日（金）までの2日間，石川県金沢市で「ゆきみらい 2012 in 金沢」が開催されました。期間中の全イベントの来場者数は約1万人と盛況なものとなりました。

除雪機械展示会では，関係9社（北陸地方整備局含む）から除雪機械・装置等17台と除雪関連機器6品目が出展され，うち4社4台による実演が行われ，期間中約1千2百人の入場者で賑わいました。

2. ゆきみらい 2012 in 金沢

「ゆきみらい」は，北海道・東北・北陸の3地域において毎年持ち回りで開催されているものであり（北海道はふゆトピア），石川県では平成14年に小松市で開催されて以来3回目，金沢市では2回目の開催となります。

今回開催地となった金沢市は，石川県のほぼ中央に位置し，江戸時代には加賀百万石の城下町として栄え，今なお歴史と文化が町並みとして残る観光都市です（図-1）。

今回のゆきみらいは，「冬の北陸 地域の活力がにぎわいを！」をテーマとしました。これは，地域防災力による安全・安心の確保が雪国のくらしの活力につながる一方で，北陸新幹線の平成26年度金沢開業を見据えた冬期観光の活性化が期待されていることから，雪国のおかれている現状を踏まえ，防災力と観光



会場	2月2日(木)	2月3日(金)
金沢駅東もてなしドーム 地下イベント広場	ゆきみらい見本市 10:00 17:00 10:00 17:00	
	冬の金沢いしかわまちめぐり 10:00 17:00 10:00 17:00	
石川県立音楽堂	邦楽ホール ゆきみらいシンポジウム 14:00 17:00	ゆきみらい研究発表会 9:30 17:00
	交流ホール	
城北市民運動公園駐車場	除雪機械展示会 10:00 16:00 10:00 13:00	



写真-1 ゆきみらい見本市オープニングセレモニー

の観点からその課題と可能性について考えていくという主旨です。国土交通省北陸地方整備局，石川県，金沢市など13機関からなる実行委員会によりシンポジウム，研究発表会，見本市，除雪機械展示会，地域主催イベントとして冬の金沢いしかわまちめぐりを通じ一般市民や関係機関などの交流や連携を促進しました（写真-1）。

3. 除雪機械展示会

除雪機械展示会は，昭和36年から続く歴史あるイベントで，調査研究・技術開発によって高度化された除雪機械を紹介するとともに，冬期道路交通確保において除雪機械が果たしている役割や最新の除雪技術を紹介するものです。



写真—2 社会長 挨拶



写真—3 除雪機械展示会テープカット

写真—4 にぎわう展示会場

除雪機械オープニングセレモニーは、(社)日本建設機械化協会 辻靖三会長の挨拶(写真—2)で始まり、国土交通省総合政策局公共事業企画調整課施工安全企画室長、出展社代表者ら6名のテープカットで盛大に行われました(写真—3)。

(1) 展示会の概要

展示会は、金沢駅から約2km離れた城北市民運動公園において開催されました。ゆきみらいの各種イベントのシンポジウム、研究発表会、見本市などが行われている金沢駅前広場と距離はありましたが、金沢駅西口と会場を結ぶシャトルバスを運行し、パークアンドライドとして来場者の利便性の向上に努めるとともに、見本市会場と連携しスタンプラリーを実施するなど集客に努めました(写真—4)。

会場は、図—2に示すとおり運動公園内の駐車場を利用し(写真—5)、開催前の降雪により雪山を造成して小型除雪車による実演を行いました。

開催当日は寒波に見舞われあいにくの天候でしたが、奥田国土交通省副大臣が視察(写真—6)されたほか、金沢市内の工業系の学生3校5クラスが授業の一環として団体で見学し、JCMS事務局に展示したパネルにて除雪施工法と除雪機械の関わりを勉強した



図—2 除雪機械展示会会場配置図



写真—5 除雪機械展示会全景



写真一六 奥田国土交通省副大臣による視察



写真一七 学生の見学状況

後、班ごとに分かれて各展示ブースでの説明を受けたり、除雪車へ試乗したり興味深く除雪機械の構造などを勉強していました(写真一七)。

ゆきみらいの開催に合わせたように日本列島を寒波が襲い、金沢市でも30cmを超える積雪に見舞われるとともに、開催期間中も強い寒気の影響で厳しく冷え込んだ中での開催となりました。

(2) 出展機械の概要

今回は、関係9社(国1機関含む)から除雪機械・装置等17台と除雪関連機器6品目が出展されました。

出展機械は表一に示すとおり、除雪トラック、ロータリ除雪車、凍結防止材散布車、除雪ドーザ、小形除雪車、除雪関連機器等で、各社とも最新鋭の除雪機械

表一 出展機械・企業一覧

No.	出品会社名	出展機械・機器	型式、規格
①	(株)パトライト	LED 散光式警告灯	NZW, AXS
		LED 式補助警告灯	LP3, LP5
		車載用 LED 表示ボード	VD シリーズ
		HID サーチライト	DCS
②	岩崎工業(株)	除雪トラック	10t級 6×6
③	UD トラックス(株)	除雪トラック	CZ5YL
④	日野自動車(株)	大型除雪車シャシ	FS1A
⑤	範多機械(株)	湿潤式凍結防止剤散布車	MS-40SWT
		手押し式剤散布機	MS-01D
		車載式凍結防止剤散布機	MS-03H
⑥	新潟トランシス(株)	ロータリ除雪車	NR282
		ロータリ除雪車	NR30P (とらん丸)
⑦	千代田機電(株)	ホイールローダ	コマツ WA100
		ホイールローダ	日立 ZW100
		ミニローダ	日立 ML30, M120
		小型除雪機	フジイ SF1235
⑧	(株)日本除雪機製作所	ロータリ除雪車	HTR306
		ハイブリッドロータリ除雪車	HTR145HV
		凍結防止剤散布車	NWS25SS5
⑨	北陸地方整備局 北陸技術事務所	小形除雪車	1.0m級 簡易操作型
		対策本部車	拡幅型



(株)パトライト



岩崎工業(株)



UD トラックス(株)



日野自動車(株)



範多機械(株)



新潟トランシス(株)



千代田機電(株)



(株)日本除雪機製作所

写真一八 出展8社のブースの様子

が展示されましたが、除雪グレーダ及び地方自治体での除雪主力機械である除雪ドーザメーカーの展示がなされなかったことが残念でした。

①除雪トラック

除雪トラックは10t級を中心として3社から出展され、各種プラウ装置や新長期排出ガス規制適合車など環境性能と燃費性能の両立を目指した機種が展示されました。

②ロータリ除雪車

除雪幅2.2m級を中心に、4社（国1機関）より歩道除雪用の小形除雪車やハンドガイド式小形除雪機まで多岐にわたった機種が展示されました。

業界初の環境対策等をコンセプトに開発されたハイブリッドロータリ除雪車や環境性能の向上、操作性の向上を目指した機種が展示され、多くの来場者の目を引いていました。

③除雪ドーザ

除雪ドーザ（ホイールローダ）は、中型から小型までを1社が展示しました。3次排出ガス規制対応や除雪作業の効率化やオペレータの作業環境の向上を図る工夫が施されていました。

④凍結防止剤散布車・散布装置

専用車として湿潤式、湿式その他、車載式小型散布機や手押し式の簡易散布機など、2社が展示しました。

⑤除雪関連機器

LED式警告灯を中心に1社が展示しました。いずれも省電力・長寿命の製品で除雪作業時の安全な作業環境を作り出すことが期待されます。

⑥北陸地方整備局展示機械

北陸地方整備局からは、北陸技術事務所が開発した簡易操作型小形除雪車を展示しました。

簡易操作型小形除雪車は、市販の搭乗式の小形除雪車（40PS）に雪詰まり防止・集約型操作レバー・不陸自動追従・ワンタッチシャープピンなどの機能を付加し、経験の浅いオペレータでも熟練オペレータと同等以上の作業性を可能とした機械です。



写真—9 北陸技術事務所展示状況

また、展示ブースには、災害時において災害現場近くで情報収集や現場指揮をとる対策本部車を活用しました（写真—9）。

(3) 除雪機械実演会

開催地は、過去の降雪データから降雪が期待できないことと会場スペースの関係から実演実施は小型除雪車を主体に行うこととしました。

開催前に30cm程度の降雪があったことから出展4



写真—10 実演状況
新潟トランスシス(株) NR30P



写真—11 実演状況
株式会社日本除雪機械製作所 HTR145HV



写真—12 実演状況
北陸技術事務所 簡易操作型小形除雪車



写真—13 実演状況
千代田機電(株) 日立 ZW100

社(国1機関含む)による4回のデモンストレーションを実施しました。小型除雪車は主に歩道除雪等で使用される機械であることから、身近な機械として見学者の関心を集めていました(写真—10～13)。

4. 同時開催イベント

(1) ゆきみらいシンポジウム

2月2日(木)に石川県立音楽堂で開催された「ゆきみらいシンポジウム」では、金沢観光ボランティアガイドの会「まいどさん」の喜多益雄会長による「北陸新幹線の開業インパクトを活用した冬期観光の活性化」をテーマとした特別講演と、「冬期における地域防災力・観光等による地域活力の創出」をテーマとしたパネルディスカッションが行われ、雪国の防災と観光について幅広く再認識する良い機会となり、大変好評を得ました。

(2) ゆきみらい研究発表会

2月3日(金)に石川県立音楽堂で開催された「ゆきみらい研究発表会」は全国の雪に関する様々な研究や活動を行っている企業、団体、行政、研究機関などが参加しました。

日頃の成果の発表を通じて情報共有することにより、今後の雪に関する課題を認識し、各地域が魅力的な雪国づくりを推進するため、きわめて有効な情報交換の場となりました。発表は今回特定テーマとして募集した「ゲリラ豪雪の対応」など9テーマ、39編が行われました。

(3) ゆきみらい見本市

2月2日(木)から3日(金)の2日間にわたり、

金沢駅東もてなしドーム地下イベント広場で開催した「ゆきみらい見本市」は、雪国で培われた雪氷技術や歴史・文化、北陸に暮らす人たちの知恵などの紹介や、雪国の暮らしを支え、雪社会の快適さを推進する様々な技術や情報、取組などを紹介する情報交流の場として、27社の企業団体と8の主催者団体がブース展示により各々の技術や取り組みを発信しました。

(4) 冬の金沢いしかわまちめぐり

ゆきみらい見本市と同じ会場で、来場者に冬の金沢の街を觀てもらおうと、「冬の金沢いしかわまちめぐり」と題して、金沢の観光施設をポスターやパンフレットで紹介したほか、石川県内の市町の観光ポスター等を展示するとともに、観光案内コーナーでは金沢観光ボランティアの会「まいどさん」により金沢の観光スポットを紹介しました。

5. おわりに

今回の「ゆきみらい」は、日本列島を襲った寒波の影響で北陸本線の大阪方面からの電車が不通になるなど交通機関のダイヤが乱れる中にもかかわらず、連日多くの来場者で賑わいました。

今後着実に到来する高齢化社会に対応した地域防災力向上や、3年後に迫った北陸新幹線の金沢開業に向けた様々な取り組みをテーマとした金沢でのゆきみらいが、今後の雪国の発展のための一助となれば幸いです。

除雪機械展示会では、昨今の社会情勢から出展企業の縮小傾向が続いていますが、各出展企業がブース運営等を工夫し、小型除雪車を主体とした実演となりましたが歩道除雪等身近な機械として間近で見ていただくことができ、来場された地域住民の方や地元学生には除雪機械の必要性や除雪作業の重要性について理解をいただく良い機会だったと考えます。

来年は秋田県秋田市での開催が予定されています。

開催に際し、多大なご尽力を賜りました石川県並びに金沢市、(社)日本建設機械化協会、出展各社をはじめ、関係各位に厚く御礼申し上げます。

JICMA

[筆者紹介]

笠原 邦昭(かさらはら くにあき)

国土交通省

北陸地方整備局 企画部 施工企画課

計画係長